



平成22年度

全国学力・学習 状況調査結果

教育委員会管理課 ☎ 74 3 0 0 9

全国学力テスト

文部科学省では、全国的な児童生徒の学力状況や学習状況を把握、分析する「全国学力・学習状況調査」を平成19年度から実施しています。

対象は小学6年生、中学3年生で、科目は国語、算数(数学)でそれぞれ、「主に知識」のAと「主に活用」のBの4区分です。

平成22年度の洞爺湖町の平均正答率をみると、小中学校ともに全国・全道の平均正答率を下回っています。しかし、その差は以前より小さくなっており、全国平均を上回った学校もあり、4年前に小学6年生で参

加した児童が、今回中学3年生で参加しましたが、前回調査に比べ、全道・全国との差は小さくなっており、児童生徒の頑張り、学校などの取り組みの成果が出てきていることが伺えます。

この調査は学力のごく一部を示すものであり、学力の伸びるスピードも個人差があり、しかも、個人の能力は学力だけではなく、4年間の結果として見えるものは、一定の学習定着状況を示しています。

北海道における洞爺湖町の状況をグラフでお知らせします。

また、児童生徒への質問調査

から、洞爺湖町の子どもたちは生活習慣、学習習慣に課題があることもわかっていきます。

基礎的な資質や能力に裏打ちされた「確かな学力」は、学校、家庭、地域の連携や協力で向上していきます。

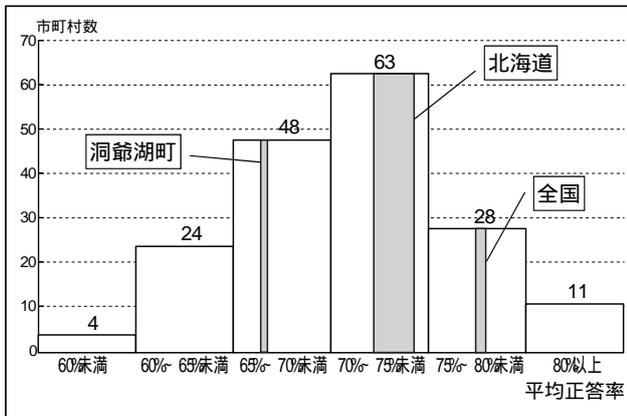
お知らせした内容は、洞爺湖町の子どもたちの学力の状況の一部ですが、地域のみなさんにご理解いただき、今後も様々なご協力、ご支援をお願いいたします。

グラフの見方

各科目の平均正答率を5%区切りの階層に分け、階層ごとに道内各市町村数を表示しています。小学校国語Aを見ると、平均正答率75~80%未満の階層に洞爺湖町が位置することを示しています。

グラフの位置から洞爺湖町は全ての科目において、北海道平均を下回っていることがわかります。基礎・基本が中心となるA問題においても課題あり、特に中学生の数学に課題の大きいことが見て取れます。

小学校国語 B 平均正答率



小学校国語 A 平均正答率

